

〈様式2〉

## 令和5年度 体力向上における各校の成果(小学校)

敦賀市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	敦賀西	小学校	マラソン大会前の強化週間に、新たなマラソンチャレンジカードに進んで取り組めるようにし、70%近くの児童が達成できた。 休み時間や昼休みに、なわとびに熱心に取り組む児童が増え、なわとび大会で自己ベストを出したり、目標を達成したりした児童が大幅に増えた。
2	敦賀南	小学校	本校の児童は「運動が好き・やや好き」と答えている児童が、男子では100%、女子では90%である。また、「友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で『できたり、わかったり』すること」が男女ともに90%を超えている。体育学習の中で、子どもたちが仲間とともに体を動かすことの喜びを感じられるような工夫が、これらの結果につながっていると考える。また、友達や教師からのアドバイスだけでなく、ICT機器を使うことで「できた・わかった」を感じている児童が50%以上いることから、主体的な学習にもつながっていると考える。
3	角鹿	小学校	授業では、動きを動画に撮って見たり、正しい技のやり方を調べたり、シンキングツールを使って作戦の話し合いを行ったりと、ICTを多く取り入れることができた。 業間運動や休み時間における運動できる場所と時間の確保を行い、体力向上を図ることができた。体カテストでは、昨年より多い23項目で県平均を上回った。
4	松原	小学校	体カテストの結果より、女子は握力以外全国平均を上回る結果となった。男子は、反復横跳び、50m走、20mシャトルラン、立ち幅跳びで全国平均を上回った。業間運動を続けたことによる持久力・敏捷性の向上が見られた。
5	中央	小学校	昨年度と比べると、多くの学年で「シャトルラン」の記録が伸びた。運動の苦手な児童も始業前からチャレンジマラソンに参加し、持久走やあきらめない心を高めることができた。
6	沓見	小学校	業間活動や体育的行事の活動を見直すことで、全校が目標を持って、継続的に活動に取り組むことができ、「たくましい心と体」を育むことができた。また、タブレット活用することで自分や仲間の成長を確かめることができ、スポーツをすることだけでなく、目標に挑戦することを楽しみを見いだすことができた。
7	東浦	小学校	瞬発力を高めるために、授業の始めや業間に、スキップやクロスステップ、ダッシュなどのトレーニングに取り組んだ。その結果、5・6年生では、握力・上体起こし・立ち幅跳び・50m走・ボール投げの5種目が、去年の記録よりも向上した。特に、ボール投げは、10m近く記録を伸ばすことができた。
8	中郷	小学校	全校へ運動前の動的ストレッチを紹介し、長座体前屈は6年女子以外全国平均を上回った。年間通して持久走を継続的に実施したことで、20mシャトルランの数値は4年男子以外全国平均を上回った。4年男子もほぼ全国平均程度である。
9	粟野	小学校	体育館や校庭で積極的に体を動かす児童が増えた。朝スポ等で継続的に運動する機会を設けることで、体力が向上した。 大縄月間において、回を重ねるたびに記録が伸び、児童の自信に繋がっていた。児童同士で教え合い、励まし合う姿も多く見られた。

10	栗野南	小学校	年間を通じて計画に沿った業間運動を実施することができた。また、3学年ずつの業間マラソンとしたため、他の学年の児童と一緒に同じコースを走ることから、お互いに刺激し合う姿が見られた。それにより、体カテストにおいて20mシャトルランで全国平均を上回る結果となった。
11	黒河	小学校	朝のマラソンでは、各自が立てた目標に向かって取り組めたと答えた児童が93%いた。時間いっぱいがんばって走ることができていた。毎週の清潔検査で保護者にも規則正しい生活習慣の大切さを意識づけすることができた。